

# 低温やけどに注意！！

## 低温やけどとは

**低温やけど**は、心地よく感じる程度（体温より少し暖かい温度）のもので、皮膚の同じ部分が長い時間接触していると発生するやけどです。

熱いものに接触している皮膚の温度とやけどになるまでの時間はおおよそ次のとおりです。

「44℃では3時間から4時間」

「46℃では30分から1時間」

「50℃では2分から3分」



## 低温やけどを防ぐには

- ✓ 布団から出して使用する  
布団が暖まったら、ゆたんぽを布団から取り出して就寝して下さい。
- ✓ ゆたんぽの**低温やけど**対策用品を使う  
**低温やけど**対策用品が市販されている場合には、それらを使うと**低温やけど**の防止には効果的です。
- ✓ 一定時間ごとにゆたんぽの位置を変える  
保護者や介護者など周囲の方がいる場合は、身体の同じ部位に触れ続けられないよう、時々、ゆたんぽの位置を変えてあげてください。
- ✓ 厚手のタオルや布で包む  
必ずしも**低温やけど**の防止には効果がありませんが、付属や市販しているゆたんぽカバーを使用し、その上から厚手のバスタオルや布で包むと、表面温度が下がるため、**低温やけど**を生じるまでの時間は長くなります。



## 万が一、低温やけどになったら

**低温やけど**は皮膚の深いところまで達することがあります。

万が一、**低温やけど**（皮膚の変色や痛み）が起きたときには、すぐに専門医の診断を受けてください

製造事業者、輸入販売事業者又は販売事業者の名称

## 低温やけどに注意！！

**低温やけど**とは

**低温やけど**は、心地よく感じる程度（体温より少し暖かい温度）のもので、皮膚の同じ部分が長い時間接触していると発生するやけどです。

熱いものに接触している皮膚の温度とやけどになるまでの時間はおよそ次のとおりです。

「44℃では3時間から4時間」

「46℃では30分から1時間」

「50℃では2分から3分」



**低温やけど**を防ぐには

- ✓ 布団から出して使用する  
布団が暖まったら、ゆたんぽを布団から取り出して就寝して下さい。
- ✓ ゆたんぽの**低温やけど**対策用品を使う  
**低温やけど**対策用品が市販されている場合には、それらを使うと**低温やけど**の防止には効果的です。
- ✓ 一定時間ごとにゆたんぽの位置を変える  
保護者や介護者など周囲の方がいる場合は、身体の同じ部位に触れ続けられないよう、時々、ゆたんぽの位置を変えてあげてください。
- ✓ 厚手のタオルや布で包む  
必ずしも**低温やけど**の防止には効果がありませんが、付属や市販しているゆたんぽカバーを使用し、その上から厚手のバスタオルや布で包むと、表面温度が下がるため、**低温やけど**を生じるまでの時間は長くなります。



万が一、**低温やけど**になったら

**低温やけど**は皮膚の深いところまで達することがあります。

万が一、**低温やけど**（皮膚の変色や痛み）が起きたときには、すぐに専門医の診断を受けてください。

製造事業者、輸入販売事業者又は販売事業者の名称